

2026 Hertz FIMトライアル世界選手権 第1戦 日本道路日本グランプリ 参戦ライダーらによる植樹イベント実施のご報告

モビリティリゾートもてぎ（栃木県茂木町）は、2026年5月16日（土）・17日（日）に「2026 Hertz FIMトライアル世界選手権 第1戦 日本道路日本グランプリ」を開催いたします。

本大会開催にあわせて、5月14日（木）13時に、持続可能なモーターサイクルスポーツを目指す「FIM KiSSプログラム」の一環として、モビリティリゾートもてぎ内、生物多様性の森をテーマにしたハローウッズと、本大会で使用されるセクション付近に苗木を植樹。モータースポーツを通じてサステナビリティを実現していく行動の印を刻みました。

FIM KiSS プログラムについて

KiSSプログラムは「社会・環境・経済」の3つの柱をテーマにした取り組みを実践することで、持続可能なモーターサイクルスポーツを未来に繋げていく活動のこと。KiSSは「Keep it Shiny and Sustainable」の略で、モータースポーツイベントが環境に与える影響を最小限に抑えることを目的としています。

なお、本大会の競技運営においては、以下の取り組みを実施します。

- 「もてぎフェスタ2026」の開催で、地元茂木町の魅力を発信
- 「茂木町民感謝デー」として、町民をモビリティリゾートもてぎに招待
- 真岡工業高校の生徒がトライアル日本グランプリのセクション設営協力
- ハローウッズによる「生物多様性」の啓発とアクティビティ提供
- 森林保全活動としてのライダーによる植樹を通し、豊かな動植物の保全を担うレースであり続ける
- 電動バイクアトラクション「RINDO BIKE」を通じて子どもとトライアルをつなげる

KiSS Motegi 実施概要

- ・実施日：2026年5月14日（木）
- ・時間：13：00～13：30
- ・実施場所：モビリティリゾートもてぎ ハローウッズ 中庭
- ・出席者：TrialGP クラス：トニー・ボウ、ハリー・ヘミングウェイ TrialGP Women クラス：ベルタ・アブラン
FIM環境大使：藤波貴久、モビリティリゾートもてぎ 総支配人 稲葉光臣

植樹した苗木について

ハローウッズの長期的な森林保全計画に基づき、生物多様性に富んだ森林づくりを目指して、3種類の落葉広葉樹を植樹しました。

植樹品目	特徴
ヤマザクラ	ハローウッズにおいて最も多い植樹です。
オニグルミ	オニグルミの実はリスなどハローウッズに生息する生き物の餌となっています。
ブナ	生き物の食料になるだけでなく、もてぎの森を昔から構成する樹木であり、その若返りを図ることをこれから進めていきます。

植樹の様子



「トライアルという競技は、常に森と共に歩むスポーツです。だからこそ、日頃から森を大切にすることを心がけています。将来の子どもたちに、大切な森を守っていくのはトライアルの宿命だと思っています。これからもこのイベントを大事にしていきたい。」と語るFIM環境大使・藤波貴久氏



ハリー・ヘミングウェイ選手は「今回の植樹活動に参加できたことに感謝しています。今週末の大会が最高のイベントとなることを願っています。」とコメント



「FIM KiSSプログラムが掲げる社会貢献、地域経済への貢献、そしてこの環境活動という理念に深く共感し、誇りを持って一緒に参加していきたい。」と語るモビリティリゾートもてぎ 総支配人 稲葉光臣



植樹を記念し、ステンレス製の記念プレートを設置